

建築士法第 13 条の 2 第 3 項に規定する二級建築士試験及び 木造建築士試験の受験禁止の措置に関する基準

1 趣旨

本基準は、東京都知事が行う建築士法（昭和 25 年法律第 202 号。以下「法」という。）第 13 条の 2 第 3 項の規定に基づく二級建築士試験及び木造建築士試験（以下「二級建築士試験等」という。）における受験禁止の措置（以下「措置」という。）を講じる場合の基準を定めることにより、二級建築士試験等を不正の手段によって受け、又は受けようとする行為に厳正に対処し、もって二級建築士試験等の公正かつ適正な実施を確保することを目的とする。

2 措置の基本方針

二級建築士試験等の公正かつ適正な実施を確保するため、不正の手段によって、二級建築士試験等を受け、法第 13 条の 2 第 3 項に規定する措置事由に該当するときは、本基準に従い、迅速かつ厳正に措置を講じる。

3 用語の定義

本基準において、「不正行為」とは、不正の手段によって二級建築士試験等を受け、又は受けようとした行為をいう。

4 措置の基準

（1）一般的基準

措置の内容は、原則として次の表の左欄に掲げる行為の別に応じ、当該右欄に掲げるとおりとする。

受験禁止事由	受験禁止期間
他の受験者の答案をのぞき見るなどの不正行為	1 年
参考書、メモを取り出し利用できる状態に置くなどの悪質な不正行為	2 年
虚偽の出願（替え玉受験、無資格受験など）によって二級建築士試験等を受け、又は受けようとするなどの極めて悪質な不正行為	3 年

（2）個別事項による措置の加重又は軽減

イ 不正行為の内容及び情状により受験禁止期間を加重又は軽減することができる。

ロ 過去に不正行為を行った者が、再度不正行為を行った場合は、その態様に応じて受験禁止期間を加重することができる。

5 措置に伴う通知

措置を講じた場合においては、措置を受けた受験者に通知するとともに、東京都指定試験機関へ情報の提供を行うものとする。ただし、6（3）による場合を除く。

6 その他

- （1）二級建築士試験等における学科試験と設計製図試験は一連のものであることから、設計製図試験における不正行為により、受験禁止の措置を講じる場合には、当該受験者の学科試験の合格の決定を取り消すこととする。
- （2）不正の手段によって二級建築士試験を受け、又は受けようとしたことにより、受験禁止の措置を講じる場合には、木造建築士試験においても、措置を講じることとする。不正の手段によって木造建築士試験を受け、又は受けようとしたことにより、受験禁止の措置を講じる場合には、二級建築士試験においても、措置を講じることとする。
- （3）不正の手段によって一級建築士試験又は他の道府県知事が行う二級建築士試験等（以下「一級建築士試験等」という。）を受け、又は受けようとしたことにより、法第13条の2第3項に基づき、国土交通大臣又は道府県知事より一級建築士試験等の受験を禁止された者については、東京都知事が行う二級建築士試験等においても、措置を講じることとする。その場合、受験禁止期間は、一級建築士試験等の受験禁止期間に準ずる。

7 施行期日

（20 都市建企第 1230 号）

この基準は、平成 21 年 3 月 5 日から施行する。

（6 都市建企第 1427 号）

この基準は、令和 7 年 3 月 18 日から施行する。